

土壌動物の観察会

# 「つちはいきている」

講師：李鐘星さん（理工学部，生物科）  
共催：朝鮮大学校野生生物研究室、びちち

8月5日（土）とても天気の良い夏の朝でした。玉川上水の土を表層から5cm程度集めてふるいにかけて、「動くものを探す」という初めての観察会です。子どもたちは、ずっと土とにらめっこして生き物たちを探していました。「たくさんの生き物がいてびっくりした」という感想が多く、玉川上水の生態系の豊かさがわかりました。

顕微鏡で見ないと形がわからないくらいの小さな土壌生物は、私たちの環境を変えてしまうくらいの力と、他の生き物より環境を一足先に察知する能力を持った生きものだと専門家は言います。今回朝鮮大学校の韓昌道先生の尽力のおかげで、観察会は実現しました。（リー智子）

後援：在日朝鮮人学生支援会 国際交流事業助成



写真撮影：青木計意子

## 署名活動＋ミニ観察会

@小平中央公園南西入口（兎橋）

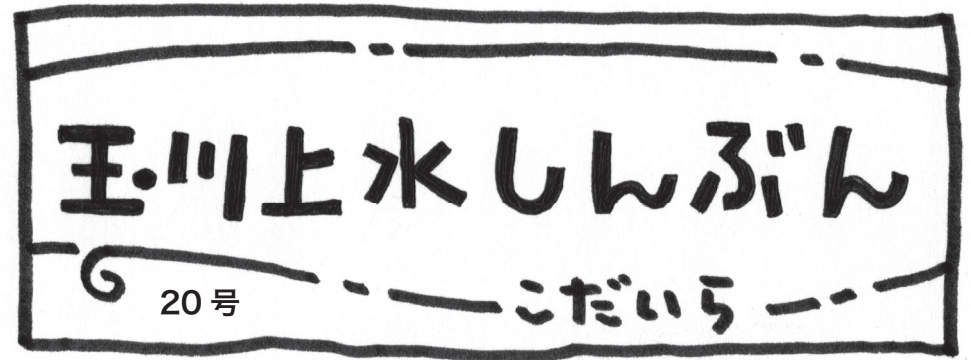
9月3日（日）、10月7日（土）、  
11月5日（日）、12月3日（日）  
（予定。変更の場合あり。雨天中止。問  
合せ先にご確認ください）

10:00-10:30 玉川上水保全署名  
10:30-12:00 頃 ミニ観察会

講師：大石征夫さん

問合せ：090-8341-9170（水口）

\* 玉川上水しんぶんメール配信申  
込みは以下へお願いいたします。  
midoritsunagari@gmail.com



発行日：2023年9月3日

題字：石渡希和子

発行人：みどりのつながり市民会議 <https://midoritsunagari.wordpress.com/>

問合せ先：電話 090-8341-9170 メール midoritsunagari@gmail.com

## 小平の玉川上水の自然が危ない

～都市計画道路 328 号線建設に向けた動き～

小平中央公園横の雑木林を半分奪い、玉川上水を 36m 幅で分断する都市計画道路 328 号線は、2013 年に事業認可され、東京都は用地買収を進めています。

都によると、買収率は 7 割に達し、今年 4 月、都は道路予定地内の玉川上水緑道の地質調査を行いました。史跡としての玉川上水の遺構調査と、工事のための地盤の調査を兼ねたものだそうです。都は、今年度に 328 号線の予備設計予算も確保しています。

小平 328 号線がいよいよ建設に向けて動き出しそうだ判断し、玉川上



シンポジウム

小平の玉川上水の自然が危ない



玉川上水は旧村から杉並まで続く河として、この地域の自然を築いています。その中でも小平は緑の幅が広く、樹木も、その下に深く根系も、鳥類も玉川上水全体でも豊かな場所の一つです。ところが神田川大学の前を走る府中街道に平行した形で建設がスタートした大田道路（小平22年線）が計画されており、それができればこの豊かな緑が消失し、多くの動植物が失われることが懸念されます。この問題を多くの人に知ってもらうためにシンポジウムを計画しました。

日時 2023年5月7日（日）13:30から

会場 小平市中央公民館 和室「けやき」

高槻成紀 住居投資10周年に改めて328号線計画を考える

高槻成紀 小平の自然の豊かさと道路による分断の影響

資料代 200円  
申し込み必要（定員72名で締め切）  
申し込み先 水口 征夫 sanaka.ken@gmail.com  
問い合わせ：リー智子 080-5019-0153  
共催 玉川上水みどりいきもの会議、地球永住計画、ちむくい



▲申し込み

水の自然環境の保全に取り組んできた玉川上水みどりといきもの会議、地球永住計画、ちむくいの3団体が共同で、今年5月7日に「小平の玉川上水の自然が危ない」と題するシンポジウムを行いました。

## 前田市長のときには地下案を提示

シンポジウムでは、生物学者の高槻成紀氏が、津田塾大学内に生息するタヌキが玉川上水を行き来して食べ物を確保していることや、玉川上水の小平部分は鳥類の種類も数も他地域より多いことを話され、それらの生き物たちを支える玉川上水のみどりが36m幅の道路で分断されれば、生き物に大きな影響があることを指摘しました。

私からは、328号線計画が1962年に都市計画決定されてからすぐに地元住民によって見直しを求める活動が始まり、都や市に多くの請願や陳情が出されたことや、1997年に当時の前田小平市長が玉川上水部分は地下で横断する道路とするよう都に求めたこと、その後、小林正則市長になって2007年から2年間、都と市の間で328号線の平面案、地下案、高架案が比較検討され、2010年に東京都が行った説明会では平面でつくると示されたこと、そして、2013年には328号線計画の見直しの是非を問う住民発の住民投票が行われたが、投票率が50%以下だったために開票されなかったこと、などを報告しました。

シンポジウムでは、どうすればよいかについて、いろいろな意見が出されました。まず現状を知ってもらい、市民間での議論や活動を活発にするため、シンポジウムや学習会の活動を続けていくことになりました。  
(水口和恵)

2023年9月15日(金) 19時~21時

# 映画「杜人」上映会

戦後の混乱期に、主人公矢野智徳さんの父親が北九州の海に見える丘の上に、日本全国の花を集めた植物園をつくりました。10人のこどもたちは毎日学校から帰ると植物園を手伝い、観察し、学んでいきました。その一人である矢野さんは、植物が弱っていく時その症状のみをみるのではなく、周りの環境を観察し、治療法を見つけます。被災地や弱った場所を治療しているうちに、環境再生医として全国で知られるようになりました。

この「杜人」は全国の自然再生現場を追ったドキュメンタリー。そういう矢野さんが、今本丸の東京で活動したいということで、玉川上水に注目され、玉川上水で活動されてきた関野吉晴さんに声がかかりました。それを知った私は、まず小平の人に杜人を見ていただきたいということで上映の運びとなりました。

(リー智子)

